

藍住町 議会だより

第61号

平成22年 5月25日

発行 藍住町議会
編集 議会だより編集委員会
徳島県板野郡藍住町奥野
字矢上前 52-1

TEL (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



バラ園

目次

議会の構成	P. 2
3月定例会	P. 3
一般質問	P. 6～11
常任委員会報告	P. 12～13
議会のうごき	P. 14

議会の構成

3月5日の定例会において、議長に森志郎氏、副議長に江西博文氏が就任しました。また、常任委員会等の構成も再編されました。(合併調査特別委員会、資格審査特別委員会については、委員会構成に変更ありません。)

このたび、議員各位より御推挙をいただき、第35代藍住町議会議長に就任することとなりました。私にとりましては、大変な光栄でありますと同時に、その責任の重大さを感じ、身の引き締まる思いであります。

国、地方を取り巻く厳しい財政環境の中において、急速に進む少子高齢化、環境問題への対応、教育・文化や福祉の充実、生活環境の整備など、多くの課題に取り組んでいかなければなりません。

今後は、皆様方の御支援・御協力をいただく中で、藍住町発展のため、また、議会の円満な運営のために、誠心誠意、努力をしてまいります。今後とも御協力をいただけますようお願いを申し上げます。就任のごあいさつといたします。



議長 森 志郎



副議長 江西 博文

● 常任委員会

総務文教常任委員会

- 委員長 西川 良夫
- 副委員長 林 茂
- 委員 喜田 修
- 委員 佐野 慶一
- 委員 古川 義夫
- 委員 江西 博文

副委員長

- 永浜 茂樹
- 喜田 敏夫
- 小堀 克夫
- 平石 賢治
- 西川 良夫

● 特別委員会

まちづくり

特別委員会

- 委員長 矢部 秀行
- 副委員長 小西 浩昭
- 委員 喜田 修
- 委員 奥村 清明
- 委員 小堀 克夫
- 委員 西川 良夫
- 委員 江西 博文
- 委員 森 志郎

議会だより編集委員会

- 委員長 奥村 清明
- 副委員長 小西 浩昭
- 委員 矢部 秀行
- 委員 佐野 慶一
- 委員 西岡 恵子

● 一部事務組合等

議会議員

板野東部消防組合議会

- 小堀 克夫
- 古川 義夫

板野西部青少年補導センター組合議会

- 森 志郎
- 江西 博文

防災対策特別委員会

- 委員長 小川 幸英
- 副委員長 矢部 秀行
- 委員 喜田 敏夫
- 委員 平石 賢治
- 委員 佐野 慶一
- 委員 林 茂
- 委員 西岡 恵子
- 委員 古川 義夫

徳島県後期高齢者医療広域連合議会

- 江西 博文

その他

- 監査委員 奥村 清明 (敬称略)

● 常設委員会

議会運営委員会

- 委員長 平石 賢治
- 副委員長 矢部 秀行
- 委員 小西 浩昭
- 委員 喜田 敏夫
- 委員 森 志郎

議員長

- 佐野 慶一

3月定例議会が3月5日から25日までの21日間の会期で開会された。

平成22年度一般会計予算など30議案と、議員提案の16議案が原案のとおり可決された。

石川町長は平成22年度の所信表明を行った。

3月定例会

所信表明 ～主な施策方針～

少子化対策・子育て支援

本年4月から第3子以降に係る保育所保育料及び幼稚園授業料を無料にする。町営以外の所定の保育所、幼稚園に通う第3子以降についても、助成を行いたい。

また、乳幼児等の医療費助成は、本年7月から中学校修了まで拡大する。

勝瑞城館跡の整備

平成22年度は、庭園遺構の整備を予定。平成25年度には西半分の整備が完了する予定であり、皆さんの憩いの場として活用したい。

平成26年度以降には、大型庭園や建物跡の整備を実施し、貴重な文化遺産を本町のシンボル空間として整備・活用する予定である。

藍染め文化交流事業

昨年、東京都で開催した本町と群馬県東吾妻町、滋賀県愛荘町との三町合同企画展「麻・藍・布」を、本年は本町で開催する。麻ひきや機織り等の実演を行い、実際に体験できるようにし、伝統文化の魅力を多くの方に感じていただきたい。

学校施設の耐震化

北・南小学校の耐震補強改修工事は2月に竣工。藍住中学校南校舎は耐震補強工事に着手し、来年3月に竣工予定。残る北校舎は、改築の方向で進めたい。

北・南幼稚園は、改修設計のための予算を計上した。

環境対策

西クリンステーションでは、平成20年に焼却炉の改修工事が完了し、焼却能力の回復と焼却設備の延命化を図った。建物については、地震災害時にごみ処理が滞ることなく行えるよう、22年度に耐震改修を行う。

ごみ問題

ごみ集積所からの資源ごみ持ち去り行為を条例によって禁止する方向で関係機関と協議を行っており、整次第、関係条例の改正を提案したい。

公共下水道

第一期認可区域の内、奥野地区は、ほぼ完成。順次、供用開始を行っている。

矢上地区は、平成25年度中に第一期認可区域の工事を完成させる予定である。

徳島県汚水処理構想の見直し

将来の人口推計を基にした経済比較を基に、地域の特性を考慮した上で、効率的かつ適正な整備手法の選定を行い、県及び流域下水道の関係市町とも調整しながら、見直し作業を進めていきたい。

水道浄水場整備事業

配水池の容量不足解消と老朽化した浄水施設を更新する計画であり、自

都市計画

昨年9月に藍住町都市計画マスタープランを策定。この中で商業・沿道ゾーンとして位置づけられている地区において、現在、開発整備促進区を定める地区計画の策定を進めている。

地籍調査

現状にあった地籍簿及び地籍図を整備するため、地籍調査が全国各地で行われるようになった。県内で着手していないのは本町を含め3町だけとなり、実施に向けて準備を進めてきたが、22年度から事業に着手する。地元説明会を行い、住民の方の立会い等を願うのは夏頃からになると思われるので、ご協力をお願いしたい。

然災害発生時に飲料水等の生活用水を確保する対策として、平成19年度から工事に着手した。全体の竣工は10月下旬の予定だが、5月上旬から新浄水場を使用して通水を開始する予定である。

平成22年度一般会計当初予算 85億1千万円

主な予算(1万円未満切り捨て) 前年度当初予算対比0.8%増額

総務費

参議院議員総選挙費・・・1,407万円
 国勢調査費・・・1,088万円
 木造住宅耐震診断及び改修支援事業費
 ・・・・1,260万円

民生費

重度障害者医療扶助事業費・・・7,588万円
 障害者自立支援給付費・・・3億898万円
 障害者地域生活支援事業費・・・5,983万円
 子ども手当・・・8億600万円

衛生費

乳幼児医療扶助費・・・1億5,904万円
 西クリンステーション管理費
 ・・・・3億9,612万円
 中央クリンステーション管理費
 ・・・・1億4,913万円

農林水産業費

農地防災事業費・・・1,032万円
 一般排水路改良費・・・3,362万円
 地籍調査事業費・・・704万円

土木費

道路簡易舗装費・・・4,557万円
 一般町道新設改良費・・・2,965万円
 まちづくり交付金事業費・・・1億919万円

消防費

板野東部消防組合負担金(常備)
 ・・・・4億6,156万円
 板野東部消防組合負担金(消防団) 3,566万円

教育費

藍住中学校北校舎改築設計費・・・5,600万円
 南・北幼稚園大規模改修設計費・・・1,300万円

総体質問

請

願

1件の請願がありました。賛成少数により不採択となりました。
 ●藍住町副町長二人制の廃止を
 求める請願書・・・不採択

問 指定ごみ袋を値下げしないのはなぜか。ごみ袋の仕入価格は下がっているのではないか。

答 ごみ出しルールやごみ行政に対する理解度が上がった時点では、値下げについて考えさせていただき、実行したい。

ごみ袋の仕入単価は平成21年度と平成22年度は同額に近いが、平成22年度は製造枚数を減らして予算計上したことにより、製造委託料の予算額が減っている。

問 公用車について①ハイブリッド車を購入する必要があるのか。②現在、ディーゼル車は何台あるのか。③車検や修繕などを依頼しているのは、町内業者か。④燃料(ガソリン)を入れているのは、何業者か。

答 ①買い換えで購入を予定している。地球温暖化防止の面から、できるだけ省エネの車の導入を考えており、国の臨時交付金を活用し、購入させていただくものである。②主にごみ収集車、作業車で、約20台ある。③すべて町内業者で、年

度当初に見積りを取って決定している。
 ④町内5箇所を指定している。

問 勝瑞地区等湛水防除事業負担金の事業内容は。

答 源九郎川の排水機場の負担金である。

問 勝瑞正喜地線土地購入費について、説明を求め。

答 道路が行き止まりになっている部分を購入したいと考えている。

問 高圧洗浄車について、ある程度の見積りをとって予算化するのが普通ではないのか。

答 概算の見積りはもらっており、予算計上しているが、平成22年度の予算執行であるため、正式な見積りをとるのは新年度になってからとなる。

平成22年 第1回臨時議会

2月18日開催の臨時会において次の5議案が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。

- 平成21年度藍住町一般会計補正予算について
(土砂仮置場の汚泥脱水処理施設整備事業の工事を翌年度にわたって実施する必要があるため、繰越明許費として1億400万円を計上)
- 平成21年度藍住町特別会計(下水道事業)補正予算について
(公共下水道事業で繰越明許費として1億2,510万円を計上)
- 公共下水道第六処理分区南部幹線管渠工事(第三分割)の請負契約の締結について
請負額・・・・・・・・・・・・・・・・・・4,737万1,800円
請負業者・・・・・・・・・・・・・・・・・・株式会社司組
- 藍住中学校南校舎耐震補強工事の請負契約の締結について
請負額・・・・・・・・・・・・・・・・・・2億9,332万8千円
請負業者・・・・・・・・・・・・・・・・・・株式会社フジタ四国支店
- 藍住町立小中学校コンピュータ機器物品購入契約の締結について
請負額・・・・・・・・・・・・・・・・・・4,946万5,500円
請負業者・・・・・・・・・・・・・・・・・・株式会社トクジム

平成22年 第2回臨時議会

4月26日開催の臨時会において、次の4議案が上程されました。

西岡議員が失職

- 西岡恵子君の議員の資格決定の件について・・・・・・・・・・・・・・・・・・被選挙権を有しない

平成20年3月議会定例会最終日、西岡恵子議員の被選挙権の有無(住所要件=町内に引き続き3か月以上住所を有するという条件)について、西川良夫議員が地方自治法第127条第1項の規定により資格決定要求書を議長に提出したことに伴い、資格審査特別委員会が設置され、西岡議員の議員の資格(被選挙権)の有無について審査をしてきました。

委員会は、延べ25回にわたり開催され、西岡議員の弁明・説明、調査事項の確認、提出記録の審査、現地調査等を行いました。一連の審査を終えた平成22年4月13日の委員会で採決を行った結果、起立多数で被選挙権を有しないと決しました。

本臨時議会において資格審査特別委員会委員長報告の後、採決を行った結果、出席議員の3分の2以上の賛成により被選挙権を有しないと決定し、西岡議員は議員の身分を失いました。

※地方自治法第127条とは？(一部抜粋)普通地方公共団体の議会の議員が被選挙権を有しない者であるとき…は、その職を失う。その被選挙権の有無…は、…議会がこれを決定する。この場合においては、出席議員の3分の2以上の多数によりこれを決定しなければならない。

- 平成21年度藍住町一般会計補正予算の専決処分を報告し、承認を求めることについて
・・・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決
- 藍住町税条例の一部を改正する条例の専決処分を報告し、承認を求めることについて
・・・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決
- 藍住町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分を報告し、承認を求めることについて
・・・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決

藍住町副町長二人制の廃止を求める請願書について

一人が総務・民生部門、もう一人が土木・産業部門を統括し、成果を上げてきた

問 町民負担の増大ばかりせず行政のスリム化を図り歳出削減を徹底すべきと町民から出されたこの請願書を受けて、町長はどう対処するのか。

議会では18年3月議会で助役一人制にすれば4年間で約4,800万円、又議員定数を2人減らせば4年間で2,800万円の削減効果があると議員提案された。議会はこれを受けて定数を4名減らし4年間で約5,600万円を削減し改革してきた。

住民が立ち上がり、町自らが改革せよとの事だが、この声を受けて町政にどう反映していくのか。

答 近隣の町の中には専任の参事複数制を導入しているところもあるが、むしろ、現行の体制が決裁の流れもスムーズで、経費の面からも最も優れていると考えており、この体制を継続させたい。

下水道事業について 各家庭での業者選定と見積入札等の 発注をサポートする制度を実施したい

問 昨年4月より奥野地区の一部で供用開始され、加入者は540ヶ所の内72件との事だが、今後どのようにして加入者を増やしていくのか。又2期以降の工事はどうするのか。

答 近所の方等がまとめて複数で排水設備工事を実施する場合、申込により見積入札等を町が代行し、少しでも経費を安くするとともに、安心して工事を実施できるような制度を立ち上げる準備をしている。

2期計画については全



小川 幸英 議員

く決まっていない。今後、流域関係市町とも連携しながら、汚水処理構想の見直し作業を進めたい。

夢タウンについて 法手続に不測の日数を要している

問 この春には建設に着工し来年秋には完成予定との事だが、1年着工が遅れているのはなぜか。2月に地元住民にイズミ開発と共に説明会を開催したがなぜ地権者も呼ばなかったのか。

いる。町としての対応は。

答 地区計画を定めるために県知事の同意が必要であるが、この方法による手続は前例がなく、県においても従来以上に慎重な対応をされているようである。



「ゆめタウン徳島」(仮称)の外観イメージ図

契約時に一時金だけで遅れた理由も知らされず、契約するまで強引過ぎるくらい日参したのには後は何の説明もない、町に対して不信感を持つ方も

2月の説明会は、地元自治会から出された質問・要望等の事項について、イズミが主体となり開催されたものである。地権者には大変御迷惑をおかけしているが、町としては、1日も早く工事に着手できるように、一層の努力をしたい。

その他の質問

- ◆ チリ大地震について
- ◆ 正法寺川、前川周辺対策について
- ◆ 受動喫煙防止について

介護保険事業の現状と課題

本町の場合、介護サービスの種類や内容は全般的に充実していると考えている

問 介護保険事業は、急速な少子高齢化に対応しきれない状況になっている。藍住町も将来に対して施設の不足や、在宅支援の小規模多機能型の施設の充実が求められる。また、元気な高齢者を作るためにも、認知症予防や介護支援ボランティア制度の導入も積極的に実施すべきだと思うが、今後の方針について伺いたい。

答 認知症予防は、生活習慣病や介護予防の施策を推進する中で、一定の効果はあると考えている。本年度は65歳以上の方に「元気になる運動教室」という名前で運動支援を行うなど、介護予防に努めている。介護ボランティアについては、ボランティアをされる方の介護予防にもつながり、町や地域の活性化にもつながっていくと思う。本町の特性を見極め、研究したい。



西川 良夫 議員

廃蛍光管の

リサイクルについて

現在、ガラスくずとして埋立て処理を行っている

問 「水銀」を使用している蛍光灯の廃棄は適正に処理しないと健康被害の恐れがあると専門家の研究で指摘している。埋め立てなどにすると土壌汚染や、資源の喪失にもなる。廃蛍光管専門の処理業者に委託することで、再資源利用の有益性や環境施策に貢献できる。現在の状況と認識を伺いたい。

答 現在の体制では、収集・保管等の点からもリサイクルへの取り組みは難しい。業者がどのような方法で処理しているか研究させていただき、検討課題としたい。

本町の児童・生徒の運動能力、運動習慣

家庭での取り組みも働きかけていきたい

問 文部科学省は、21年度全国体力、運動能力、運動習慣等調査の結果を公表した。徳島県は、全国で最下位に近い位置を示している。小学校では、ほとんど運動しない児童が多いとの結果も出ているが、体力の低下は、精神面の充実にも深くかわっている。将来的に生

活習慣病の増加も懸念されているが、学校の取り組みを伺いたい。

答 小学校ではマラソン大会や縄跳び大会、放課後陸上クラブや夏のプール開放と水泳指導等を実施するとともに、休み時間には運動場で遊び、積極的に体を鍛えるよう指

導している。中学校の体育の授業では、基礎体力や持久力向上を指導の中心に置きながら筋力トレーニングを取り入れ、体力テストを実施したり、授業以外では板野郡陸上競技大会や板野郡駅伝大会への積極的な参加などの取り組みをしている。



小学校の体育授業の風景

町長は町民との約束をどのように守るのか？

平成22年度予算では、特に少子化対策、子育て支援策を盛り込んでいる

問 町長は昨年11月の選挙において「町民と共に歩む」や「安心安全の確立」など7つの約束をしました。しかし、平成22年度予算案85億1,000万円の中には、藍住町を住みよい町にするための独自の政策が見えてこない。7月から15歳未満の医療費を無料化などは、先進自治体の施策を踏襲したものである。近隣市町は、学校給食の無料化などはすでに取り組んでいる。我が町でも早急に取り組むべきと思うがどうか。

答 本町は、他町に比べ15歳未満の人口比率が高く、人数も多い。学校給食を無料にすると、毎年約2億円以上の財源を確保する必要がある。

給食費は、原材料費や調理用の光熱水費等のみ使用しており、調理職員の人件費や給食施設の維持管理費、調理機器等の費用に要する年間予算約1億6千万円は、すべて町の一般財源で賄っていることから、現時点では、学校給食の無料化は予定していない。

いったい誰のための行財政改革か？

集中改革プランは今後も継続するつもりである

問 平成17年に行財政改革の必要性から5カ年計画で「集中改革プラン」を策定し、実施してきた。平成22年度から新たな行財政改革を断行すると聞くが、過去5年間の評価をきっちりした上で実施すべきではないか。これまでの改革は、学校給食の民間委託は内容が悪くなるのではないかと保護者は不安がっている。し尿収集やごみ袋の有料化などは、町民に負担を強いただけではないのか。これでは誰のための行財政改革か分からない。

答 中学校の給食民間委託は調理・洗浄業務のみであり、食材も含めた全面委託は考えていない。



喜田 敏夫 議員



ごみ収集の様子

し尿収集の業務委託では経費削減が図られ、一般財源の割合も減少。手数料を22年間据え置いたという問題もあったが、平成16年10月の料金見直しは適切であったと考えている。

指定ごみ袋は、ごみ減量化やリサイクルの推進、排出量に応じた費用

負担の公平性を図ることを目的に導入。燃やせるごみの量は減少し、焼却施設の改修も行った結果、焼却時間も短縮された。

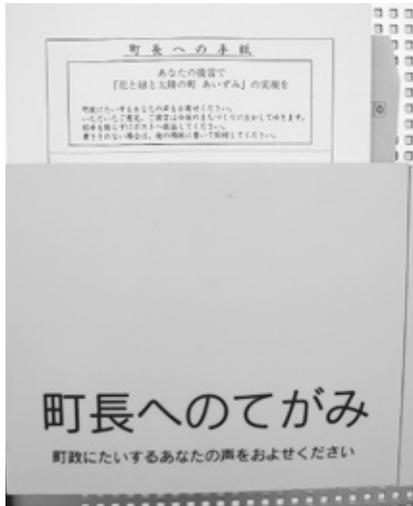
行財政改革が終了したとは考えておらず、現在、平成22年度から5か年にわたる2次計画を検討している。

町内各地に町政報告会開催について 各種団体の会合には、お招きがあれば 可能な限り出席し、住民との対話を続けている

問 昨年の町長選にて当選を果たし、3期目となりましたが、ごみ袋問題、

下水道問題、国保、介護保険と課題は山積みの船出となりました。町長自身、住民の皆さんに顔が見えて、考え方や行政に対する姿勢を語る町政報告会の開催の予定はあるのか。

答 7つの地区協における総会やイベントに出席し、財政状況や重点項目



町長への手紙（役場1階掲示板）

をお知らせするとともに、御意見をお聞きするように努めている。直接対話以外にも、町

長への手紙やホームページによる住民からの問い合わせには、その都度、丁寧にお答えしている。

問 先生のいろいろな雑用が増え、大変忙しくなっています。現状の中で、生徒たちとのふれあいができるように学校の35人学級制を1年生や2年生だけでなく全学年で導入できないのか、お聞きしたい。

答 特別支援学級を除く学級総数71のうち、36人以上の学級数は14である。各学校には数名の加配教員が配置されており、学校の実態にあわせて複数教員による指導や少人数指導を取り入れている。



小西 浩昭 議員

その他の質問

◆ 前川のフナ大量死について

問 学校は何のためにあるのかとの保護者の声や藍住中学校をめぐる評判、風評、うわさを耳にしてきているが、先生と生徒の意思疎通が十分にできているのか。今後、中学校や教育委員会を含め、この問題についていかに取り組んでいくのかをお聞かせいただきたい。

答 学校では問題行動に対し、出席停止措置や家庭訪問、個別学習を実施。また、保護者・地域住民を講師とするふれあい授業や有力講師による人権教育講演会などを行っている。

教育委員会としても指導力のある教員体制の整備、青少年対策監の設置、学校教育支援員や特別支援教育支援員の配置、学校支援地域本部事業の開始、トイレの新設・改修など学校環境の整備等を行っている。学校現場の支援を行っている。

中学校の現状について

大多数の生徒は、学業や部活動にまじめに取り組んでいる

町政のここが聞きたい

子どもの貧困 ~子どもへの支援について~

小・中学校では、経済的理由で就学困難な家庭に対し、学校で必要な費用の一部を町より援助している

問 親の所得格差で子どもの受ける教育や進学率が影響を受け、教育格差に繋がります。又、二極化が進み、給食が唯一の食事では夏休みに体重の減る子どもがいたり、家計で学校教育費の占める割合増加、高校生のアルバイト増加等、子どもにシワ寄せが起きます。子どもの平等・保障される権利への取組みが早い時期から必要です。本

答 援助に該当する方には、申請により学用品費、修学旅行費、給食費等の援助を行っている。幼稚園でも、減免事由に該当する方には、申請により授業料の減免を行っている。

子どもの虐待 ~幼子への虐待の早期発見について~

関係機関と連携を密にし、情報の共有、連絡体制を図りながら児童虐待の防止に取り組みたい

問 奈良県で5歳男児が餓死する痛ましい事件が発生。祖父母との接触がなく、自治体が行う各種検診も受けておらず、発見できなかったと報道がありました。幼子への虐待は、町の各関係機関の連携により防止できると考えます。本町の現状、取組みは。

答 乳幼児検診を受けていない場合、家庭への訪問による接触、育児状況の把握に努めるなど、育児支援とともに、虐待の兆候の早期発見に努めたい。状況により保健師や児童相談所の相談員等が訪問し、助言や相談を行う中で虐待の要因をできるだけ取り除き、子どもの安全を図っている。



西岡 恵子 議員

その他の質問

- ◆ 特色ある藍住教育推進事業について
- ◆ 正法寺川の浄化と環境学習について

男女共同参画社会の実現について

各種団体や県立男女共同参画交流センターと連携を図りつつ、基本計画に定める数値目標を達成できるように努めたい

問 平成20年度藍住町男女共同参画プランを策定し、平成21年~25年度までを推進期間と定め現在実施中ですが、21年度の実績と22年度の計画につ

いて尋ねます。又、本町のプランの特徴としてDV防止への取組みがあり、この問題解決には中

答 平成21年度は、人権尊重と意識改革では、町広報紙等を利用した啓発活動を推進。各学校PTA等を対象に「女性の権利とDV」について、研修会を開催。平成22年度は、職員向けの研修会を開催予定。中学校では、社会科(公民)で現代社会をとらえる見方や考え方、道徳教育で互いに協力し、尊重しあう態度を養う学習をしている。



「女性の権利とDV」研修会 (町民シアター)

町発注の公共工事は、地元業者優先にすること

土木・建築工事等は、地元業者優先で指名を行っている

問 中小零細業者の倒産、営業と暮らしは深刻です。仕事がなく蓄えもなくなり自殺を何度も考えたというように、経済不況が仕事を奪っています。町として地元業者に仕事を増やすことが必要です。

①住宅リフォーム助成制度をつくること
②公共工事の入札は、総合評価方式制度を導入すること
③元請業者には、下請業者は地元業者を使うように指導すること

答 ①個人の資産に対して税金を投入するもので、慎重に考えたい。今のところ予定はない。
②入札方式の大きな変更となるため、今後の検討課題としたい。
③工事内容により地元業者を使ってもらうようお願いはしたい。

問 「いま仕事もなく、払いたくても払えない」、介護保険料や国保税、払わなければ保険証をとりあげるのではなく、直接訪問し暮らしの実態を聞くこと。

①後期高齢者医療保険料は全国で一番高い値上げはなぜか
②介護保険の要介護認定者に対して、所得税・住民税の障害者控除を認定すること

答 ①広域連合では、可能な限り保険料の増加を抑制するとの国の方針に

基づき、平成21年度決算に伴う余剰金の活用や財政安定基金の取崩しにより保険料の引き上げ幅を抑制する方針で、この方針に基づき保険料の改定を提案されたものと考えている。

②本町でも障害者控除認定書の交付について検討し、交付要綱を制定したい。



西クリーンステーション

の削減が見込まれる。近年は業者間の競争で処理費は減少しているが、最終処分場を持たない本町にとって、不燃物の処理体制が安定していない。

②ごみ処理にかかる多額の経費の一部に指定ごみ袋の販売代金を充てており、御理解願いたい。

介護保険認定者には、障害者控除の適用をすること
政府税制調査会における議論を踏まえながら検討したい



林 茂 議員

高いごみ袋は引き下げるという約束は
分別やリサイクルが十分定着した段階で値下げ等について検討したい

問 「高いごみ袋、固くてくれない」ごみ袋の批判に対して、町長選挙、12月議会で、ごみ袋は引き下げるといふ答弁だったが

①不燃物等処理委託料の入札結果と新年度予算に

答 平成21年度と比較してトン当たり1万2,285円安くなっており、約1,100万円の削減が見込まれる。近年は業者間の競争で処理費は減少しているが、最終処分場を持たない本町にとって、不燃物の処理体制が安定していない。

②ごみ処理にかかる多額の経費の一部に指定ごみ袋の販売代金を充てており、御理解願いたい。

建設産業常任委員会報告

3月8日開催され、町道路線認定の現場を視察した後、関係理事者から説明を受け、本会議において付託された7議案について審査を行った。

平成22年度予算編成にあたって、国民生活に直接かかわる事項等については重点的に配分されたことだが、どのような配分をしたのかとの質問に、特に耐震を重点的にしている。また、橋梁の維持費で300万円計上しているほか、まちづくり交付金事業を活用し、道路の新設改良、排水路にも多くの予算を配分している。西クリンステーションの耐震など、安心・安全なまちづくりに対する予算配分を心がけたとの説明があった。

道路の袋小路について、できるだけ行き止まりの

りのないように不動産業者等と協議をする場合はあるかとの質問に、開発業者の開発ということ、どうしても行き止まりの箇所はでてくるが、開発指導要綱の中で、延長の長い所には回転場の設置という条件を決めている。開発指導要綱も定めてから相当年月が経過しており、見直しもしなければならないのではないかと思っ



町道路線認定現場を視察する建設産業常任委員

る。その中で、「この先行き止まり」などの看板を設置できないか相談させていたのだ。また、これに

対し、今までのある行き止まりの所にも、何らかの形でしていただくければとの意見が出された。

宅地開発時の道路認定には側溝も含まれるが、中に土砂等が入らないように指導し、配慮してはどうかとの意見に対し、町道の開発時の工事完了検査で、側溝のふたを随時開けていただき確認しているとのことであった。

町営住宅で浄化槽がある所については、共益費として集めて管理費を支払っているとのことであった。

また、1月14日、藍住

町都市計画地区計画（素案）について説明を受け、質疑を行った。

地区計画の名称は「東中須地区地区計画」、位置は藍住町奥野字東中須の一部で、面積は9.6ヘクタール。地区周辺の良好な環境を保持できるように適正な配置及び規模の施設の誘致を図りつつ、建築物やその敷地に関する制限を一体的に講じたうえで、本町の「商業・沿道サービスゾーン」の新たな核となるべく特定大規模建築物の整備を図り、魅力と活力にあふれた、にぎわいのある地区の形成を目指すこととしているとの説明であった。

緑地に公園を造るという構想はないのかとの質問に、今回定める緑地は、公園というよりもむしろ既存の住宅の方々に対する緩衝帯としての緑地であり、公園的な機能はないとの説明であった。

北側の住宅地に対して

厚生常任委員会

3月15日開催され、関係理事者から説明を受け、13議案について審査を行った。また、富吉児童館児童保育増築工事の現場視察を行った。

平成22年度予算で、町の各施設で「浄化槽汲み取り手数料」が計上されていることについて、これまで町有施設は収集手数料を歳出しても同額

は緑地帯を設けているのに、西側の住宅地の所に緑地帯がないのはなぜかとの質問に、住宅の南側に当たる部分は日当たり等の関係から緑地を設けることとしているが、北側に相当する部分にはあえて緩衝緑地としては設けていないとのことであった。これに対し、委員から、現に住宅地があるので、同じように緑地帯を設けて、なおかつ5メートルの緩衝地帯を設けるとしておいた方が、住民に説明しやすいのではないかと意見が出された。町としては、できるだけ緑地帯が取れるように

うな方向で話をしたいとのことであった。

隣接住宅地の方は日照のことを非常に心配しているとの意見に対し、日当たりの件も、十分イズミには伝えていく。ただ、4メートルの歩道があり、緑地帯があり、その上に駐車場もあるもので、距離は空く予定である。できるだけ住宅には迷惑をかけないようなものにしたというようなことで聞いているとの説明であった。

今後、県において広域調整手続が行われ、都市計画が決定されることとであった。

が歳入に入るだけであるので予算化していなかったが、昨年12月議会でも御指摘を受けたこともあり、明確にする方が良好だろうということで予算措置をさせていただくことにしたとの説明であった。

し尿収集の手数料と委託料について、差引き

2千万円近くの利益が出ていることに対し、委員から、税金の二重取りではないか、何とか考え直してほしいとの意見が出された。

また、指定ごみ袋販売代金について、ごみ袋代金から、製造代金及び商工会への配送委託料分と販売業者への手数料



富吉児童館を視察する厚生常任委員

分を差引きすると、約3千万円弱の差額があるとのことであった。

し尿汲み取りにしても、ごみ処理問題にしても、施設の運転維持管理費が非常に多くかかっており、手数料で得た利益は、そちらの方で使わせていただいているとの説明であった。

総務文教常任委員会

本会議において付託された7議案について、3月16日に審査を行った。

道路照明電気料等については、定額ではなくワット数によるとの説明

であった。また、電力会社が町有地に電柱を建てているが、使用料はも

らっているのかとの質問に、電力会社と協議したこともあるが、町道拡幅等に伴う電柱の移転には実費がかかるため、電柱使用料をもらわない代わりに移転の費用も支払っていないとのことであった。委員からは、街路灯の電気料金と併せて、電柱の使用料についても一度検討してほしいとの意見が出された。

歳入で、たばこ税や地方消費税交付金等が減っていることに関連し、委員から、厳しい中ではあるが、町税の滞納については、きちつと対処してほしいとの意見が出された。

親子会活動助成事業について、現在、安任・新居須・祖母ヶ島の3支部で、農場を借りてじゃがいも植えをしたり、夏休みにキャンプをしたりしているとのことであった。

た。委員からは、もう少し活発にするよう考え直してはどうかとの意見が出された。

勝瑞城館跡公園整備工事について、今年度は東屋を建設したが、平成22年度は枯山水庭園の展示・復元をし、その周辺に植栽工事を計画。平成25年度までの第1次復元整備工事では、旧長尾鉄工所跡の西南辺りを公園化し、それ以降には、憩いの場として活用する計画であるとの説明であった。

消防費で7,340万円増額になっているのは、第2消防署の建て替えが含まれていると聞いたが、建て替えならもつと費用がかかるのではないかと質問に、建て替えの全体の事業費は4億円余りの額だが、起債（借入れ）を除いた部分を3町が負担割合に応じて按分した額であるとの説明であった。

定例会案内

次の定例会は6月です。
次号は8月に発行します。

●お問い合わせ●
議会事務局 ☎637-31247

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。

議会や町政に関するご意見をお寄せください。

投稿規定



- 1.住所・氏名・電話番号を明記。
- 2.掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- 3.字数は500字以内。
- 4.投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

本会議を傍聴しませんか

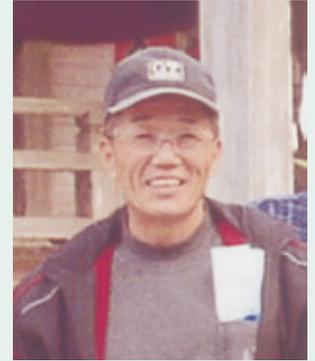
本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局までお気軽にお越しください。なお、傍聴席の定員には限りがありますので、ご了承ください。

わたしの一言

矢上 井手 浩人さん

藍住町に移り住んで早30年を過ぎ、10年ひと昔と言いますがもう3昔が過ぎ、懐かしく思います。当時、道路は曲がりくねって狭く譲り合いながら対向し、周りに広い田畑が広がり緑もいっぱいあり、田舎という言葉がぴったりの町でした。地元の商店も活気があり繁盛していたと思いますが、どんどんと世の中変わり進み、4車線の道路が町内にもでき、量販店も数多く立ち並び、何でも間に合う都会になったなど町外の人からよく聞きます。良くなったと思うところもありますが、田畑が住宅街に変わり、随分と家が建ちこんで周りが見えなくなりました。

ふた昔前、近所中に子供が走り回っていたのに、今はとんと声がしなくなり、団地内シニアの家庭がほとんどです。現在は人口は増えているようですが、高速でやってくる高齢化社会、以前の山間部みたいに子供が学校を卒業すれば都会に出て残るは年寄りばかり終いに空き家、これはさみしいと思います。議会でIT、デジタルで無い、アナログのゆっくり、ゆったりなシニア層が安心して暮らせる住みやすい町をつくってほしいです。



議会のうごき

2月

- 2日 山形県河北町表敬訪問
- 5日 板野郡町議会議長会
定例会
- 8日 徳島県後期高齢者医療広域連合議会全員協議会
(徳島市)
- 10日 資格審査特別委員会
- 16日 徳島県市町村議会議員公務災害補償等組合議会
- 18日 徳島県市町村トップセミナー(徳島市)
- 24日 第1回臨時議会
- 26日 議会全員協議会
- 26日 徳島県町村議会議長会定期総会(徳島市)
- 24日 議会運営委員会
- 26日 資格審査特別委員会
- 26日 次世代育成支援行動計画策定委員会

3月

- 3日 板野郡町議会議長会
臨時会
- 5日 3月定例議会開会
- 8日 建設産業常任委員会
- 11日 3月定例議会一般質問
- 12日 中学校卒業式
- 15日 厚生常任委員会
- 16日 総務文教常任委員会

4月

- 1日 教職員着任式
- 9日 小・中学校入學式
- 13日 資格審査特別委員会
- 26日 第2回臨時議会
- 27日 板野郡町議会議長会定例会(板野町)
- 28日 議長会事務説明会並びに町村議会議務局長・職員研修会(徳島市)
- 30日 議会だより編集委員会
- 18日 小学校卒業式
- 23日 板野東部消防組合議会
(北島町)
- 24日 教職員離任式
- 25日 3月定例議会閉会
- 29日 板野西部青少年補導センター組合議会(板野町)



みどり橋周辺

編集後記

議員の任期も残り2年となり、折り返しとして心引き締まる今日この頃です。委員会構成も変わり、正副議長も改選されました。今、町民サービスや生活向上のために議員として何が必要で何を進めるべきかを考え、町民の皆さんの声を聞くことが大切であると思います。

国政では政権交代が行われ、景気、福祉、教育など様々な分野において期待を得たように思われましたが、「政治と金」はしこりを残し、不安が渦巻いています。

私たち議員は「石橋を叩きながら」町民生活の向上を願い、残り任期を新たな気持ちで臨んでいきます。

議会だより編集委員会

委員長	奥村晴明
副委員長	小西浩昭
委員	矢部秀行
委員	佐野慶一